別紙2

中学生の文化・スポーツ活動体制整備協議会　分科会報告

日　時：3月26日（水）・27日（木）　18時～
場　所：市役所3階大会議室

【バスケットボール部会】
・小野田中学校の顧問の先生が地域クラブを立ち上げる意志がある。 ・高千帆・高泊限定でクラブチームか地域クラブを立ち上げようとしている人がいる。 ・地域クラブ運営ガイドライン（素案）については、立ち上げる際には必要性を感じるが、立ち上げ時に要件を全て満たすというのはハードルが高い。 ・施設については市民体育館の利用問題（令和7年9月～8年度）があり、場所の確保が一段と厳しくなるが、どこまで優先されるのか。もっと要件に具体的に明記するなど、メリットを盛り込まないと確保できない。 ・学校部活動については、令和7年度の平日が3日、8年度は2日になっているが、いくつかコートを使用する競技がある中で、日数のみならず曜日の固定までされていると、体育館のコートが使用できず部活ができない部が発生するのではないか。 ・（1）地域クラブの設立要件中「⑥事故防止」とあるが、古い施設等整備がされていない場所での事故で管理責任を問われるのは厳しい。 ・（1）地域クラブの設立要件中「⑦指導者の確保」は、競技によって若干変わってくるため、内規のようなものが必要ではないか。 ・月1程度の実証事業であれば指導者の確保は可能かもしれないが、それ以上になると厳しい。 ・現在バスケットボール協会の一般のクラブチームに指導者を呼びかけているが一方通行である。まだまだ不透明なところがあるため、先生も含めた関係者が集まる時に事務局に来て話して欲しい。 ・全体のアンケートは確認したが、競技ごとの先生の意思が知りたい。 ・安価な値段とはどれくらいになるのか。もし、月3，000円程度であれば、宇部のクラブチームは年間2万円のところがあり、それよりも高くなる。 ・地域クラブを立ち上げる際の、運営準備金のようなものは考えていないのか。例えば「令和7年度中（もしくは初年度）に設立される方には〇万円の準備金を交付しま

す。令和8年度中は〇円です。」などのメリットがつけば、早くに立ち上げようとする人がいるのではないか。

・設立の際の申請書は、ワンペーパーで済むような簡潔なものにしてほしい。

・1つの団体を作るのに、責任者、指導者、会計、事務等考えると5人程度必要になる。

・実証事業中は設立ありきだとハードルが高いため、設立前に実証できる等ゆるくしてほしい。

・広報等で指導者の募集をしてはどうか。

【バレーボール部会】

・令和7年度の状況としては、①高千帆中と埴生中の合同チーム、②竜王中、③小野田中、④厚狭中の女子バレーボール部が、昨年度より1日少ない（学校によって状況は異なる）日数で活動している。（昨年12月の学校部活動に関する通達を受けて）しかしながら、高千帆中では、体育館をバレーボール部、バスケットボール部、●●部の3部で分割して利用しているため、通達どおり平日3日活動できている訳ではない。

・昨年市方針は決定したが、今の新二年生については方針決定前に部活動に入部している子たちなので、その子たちが今の部活動下で選手権等に出場できるか否か、再度早期に決定（検討）してほしい。理由として、バレーボール協会では選手権に出場するためには、前年度からの継続的な活動履歴が求められるため、市方針通り令和8年4月から休日の部活動が廃止された場合、今の部活動下で新二年生の子らは選手権に出場できない場合が想定される。そのため、希望としては令和8年9月以降の休日の部活動廃止に変更してほしい。

（方針変更しないまでも新二年生の選手権出場まで考慮してほしい）

・今年の秋頃から、先生が中心となって平日の地域クラブ（女子バレーボール部）を高千帆中学校で立ち上げようと思うが、現状予約の受け付けが1箇月前のため、優先的に確約をお願いしたい。そうでなければ、練習日が確約できず生徒募集ができない。

【サッカー部会】

＜地域クラブの要件について＞

・費用負担について、地域クラブの会費はできれば一律の金額が良い。

・指導者の資格要件についてはもう少し緩和してもらいたい。また分かりやすい表現で示してもらいたい。指導者要件について全て必要なのか、いずれかに該当していればよいかの整合性をとってもらいたい。
・教員が指導者として参加できる要件は必要。
・小学生や高校生の参加については現時点で記載する必要はない。
・サッカー競技としては、地域クラブの設立はできると思う。現在の顧問はみんな協力できるという考えがある。
・地域の社会人クラブなどが母体となってジュニアユース（中学生対象のチーム）を立ち上げる形で運営できるとよい。
・現在、3 中のサッカー部は合同練習を定期的に行っており、3 年生が引退した秋以降は 3 中合わせても 20 人程度しかいないので、合同チームとなったほうが試合等も出やすいかもしれな。
・チーム運営を地域の人にやってもらい、指導者が複数登録される体制が造れると継続できるチームとなると考えている。
・指導者については、専門競技の資格を持った指導者が必要であると考えるが、競技経験者などサポートとして関われる人を指導者として受け入れる形も必要。
・練習日について、平日は週２日、休日に1日で活動することはできる。体制が整えば平日３日にしてもやっていけると考えるが、まずは平日２日でもよい。
・土日に練習試合などで長時間の活動をした場合は、平日の活動を休養に充てるなど臨機応変に活動日を調整すればよい。

【ソフトテニス部会】

＜地域クラブの要件等について＞
・要件については、地域の方が参加しやすいほうが良いが、ソフトテニスには地域クラブを率先して立ち上げるような指導者はいない。
・個人的な考えとなるが、今の部活動の体制を維持できるなら維持する方が良い。
・休日だけや平日の活動日を減らして活動するというよりは、はっきり部活動を廃止し、地域でやるという方針を示した方が良いのではないか。そのことにより、ソフトテニスの活動ができないのであれば、この地域では仕方ないのではないか。
・ソフトテニスには受け皿となる団体が存在しない。女子は竜王 STC があるがここだ

けではすべての選手を受け入れることは難しい。

・男子の受け皿となるチームが山陽小野田市にはない。

・指導できる人材がいない。競技団体でも話が進みそうにないので、広く指導者を募集するなど、現在の状況を周知することが必要。

・現在の部活動の顧問もどのように関わることができるかよくわかっていないのではないか。

【吹奏楽部会】

・部活動の指導者は各自知り合いのつてを頼っている。2h で 5,000 円程度。ついでに近隣の中学校もまわっていただき指導していただくと割安になる。プロだと 30,000 円程度。

・令和 7 年度からすでに平日の部活動の練習日が少なくなっている。子ども達のことを考えると、平日も早く立ち上げる必要がある。

　→地域移行にスライドしやすいようにしている。（週に 45h 以上勤務していると兼職兼業ができない。）

・平日で減った部分に先生が地域クラブを立ち上げて行うことは可能である。

・どこの学校を拠点校にするのかを早く決定すれば、学校も外部からの出入りの対策等改修がしやすい。

・どの先生が異動になっても対応できるよう、持続可能な活動にしていく仕組みが必要である。例えば、指導したい先生の居住地に近い場所を活動拠点にすると、持続しやすい。

・現在指導者がいない学校では、合同練習以外の日はオンライン指導を検討してはどうか。

・これまでの分科会では、高千帆・小野田・厚狭の 3 箇所を拠点校にする方向であるが、学校の構造を考えると、高千帆・竜王・埴生が外部の人を入れやすい構造である。

・文化部でもスポーツ保険に入るのか。

　→スポーツ保険は活動場所までの移動も対象となるため、入る必要がある。

・吹奏楽の指導者には資格がないため、以下のような書き方にしてはどうか。

　※吹奏楽の指導者は以下のいずれかに該当すること。

○文化協会等に所属しており、吹奏楽に精通している者 ○楽器店の講師をしている者 ○吹奏楽団に所属している者 ○音大の卒業資格がある者 ・今後子ども達だけでは成り立たないため、大人と一緒に活動することも視野に入れていく。 ・地域クラブを 3 つ立ち上げると、講師が少なくとも 6 人必要になるため、地域クラブを 1 つ立ち上げて活動場所を 3 箇所にする方が現実的である。
【陸上部会】
・令和7年度に山陽レッツ中等部を立ち上げる。元々は山陽レッツの中で一緒に運営していく想定であったが、他の指導者・保護者から小学生と中学生の体格差や運動能力の差を考慮し、別々に運営することとなった。会計も機材も運営者も別々に行う。 ・山陽レッツ中等部の部員は、13名で全員が厚狭中学校に在籍している。練習は、毎週月・水・金の17時30分から19時まで、岡石丸運動広場で行う。因みに、山陽レッツは18時30分から20時まで同じ日程と場所で練習するため、30分ほど練習時間は被ることになる。 ・現在の連絡手段は、保護者と指導者間のグループLINEのみ。 ・山陽レッツ中等部の会則（別紙）を作成したが、地域クラブ登録用として足りない部分を検索してほしい。